

**「てっぽく・ひろば」跡地活用に関する
アンケート調査結果について
(令和2年10月)**

手稲区連合町内会連絡協議会

1 アンケートの概要

JR手稲駅や手稲区役所からほど近い「てっぽく・ひろば」（旧手稲鉄北小学校学校用地）は、長年にわたり「ていね夏あかり」や「手稲区防災訓練」などのイベントが開催され、多くの区民の皆様が親しまれてきました。

しかしながら、今後、行政として利用する計画がないことから、札幌市の公有財産の戦略的活用の一環として、令和4年度をめどに売却されることとなりました。

手稲区連合町内会連絡協議会（区連協）では、区民にとって貴重なこの土地について、売却されるにあたって、今後の利用のあり方について、区民の意見や要望を聞いていただくよう、昨年11月に札幌市に要望書を提出しました。これについて、札幌市からは、「地域の意見を伺いながら、民間の創意工夫による土地の利活用の可能性について模索する」といった回答をいただきました。

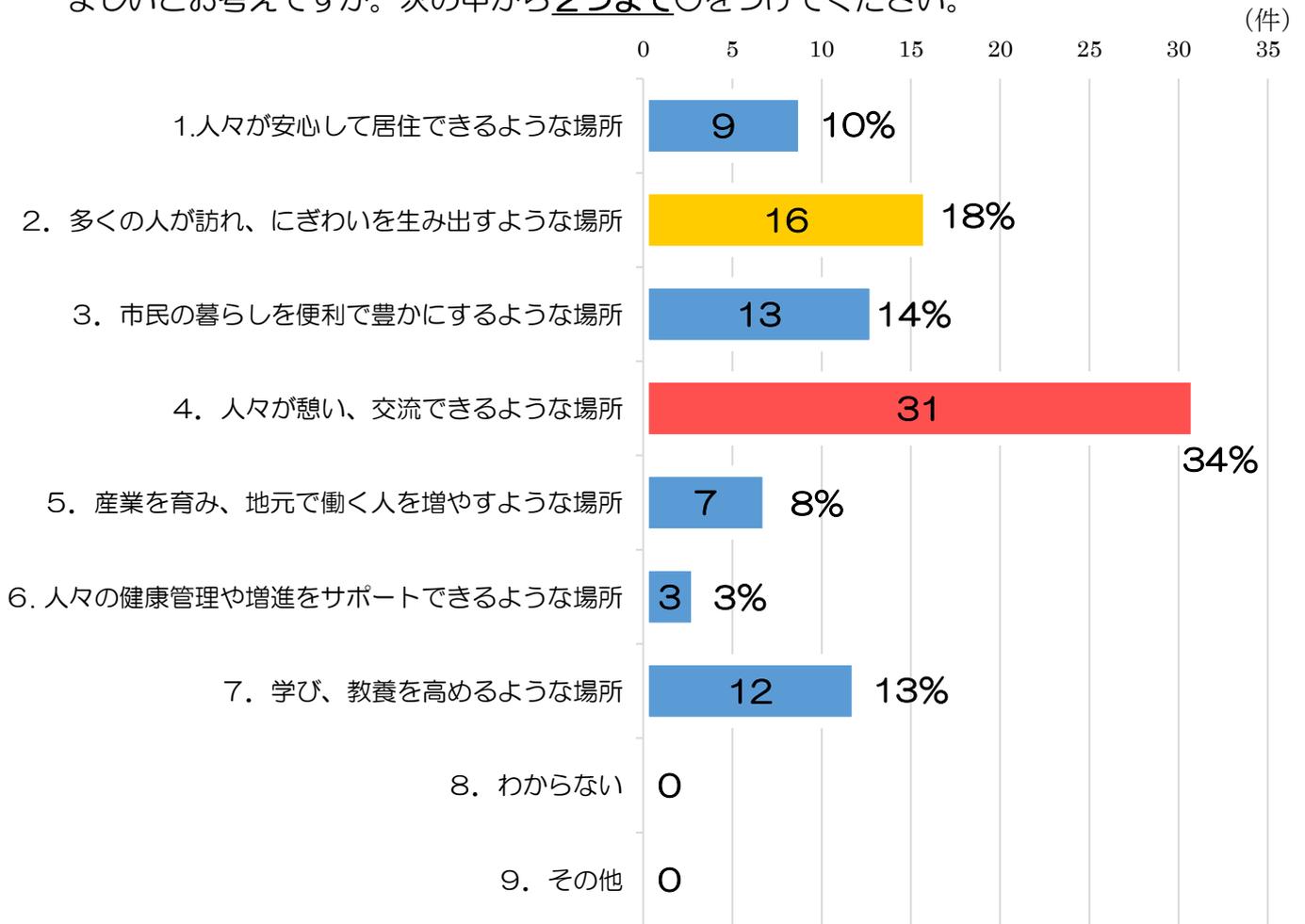
この回答を受け、区連協では今年7月、「てっぽく・ひろば」について、広く区民の皆様の意見をいただこうと、「ていねっていいね！区民の集い」（区民協議会）において、参加団体の皆様に「てっぽく・ひろば」の今後の利活用を考えるアンケートを実施しました。

このたび、その結果がまとまりましたので、アンケートをいただいた皆様に報告させていただきます。

なお、この結果につきましては今後精査し、本年中をめどに、札幌市に対し「区民の要望」として提出させていただきます。

項目	内容
調査方法	アンケート調査（会議等でのアンケート票の配布、郵送及びFAXで回収）
調査実施期間	令和2年（2020年）7月30日（木）～9月30日（水）
調査対象者	・「ていねっていいね！区民の集い」参加団体 55 団体（北海道科学大学、北海道科学大学短期大学部は1枚に統合したため、54枚配布） ・手稲鉄北小学校、手稲鉄北小学校PTA 2団体（聞き取りにて調査し、「自由意見」に加えた）
回答状況	52団体

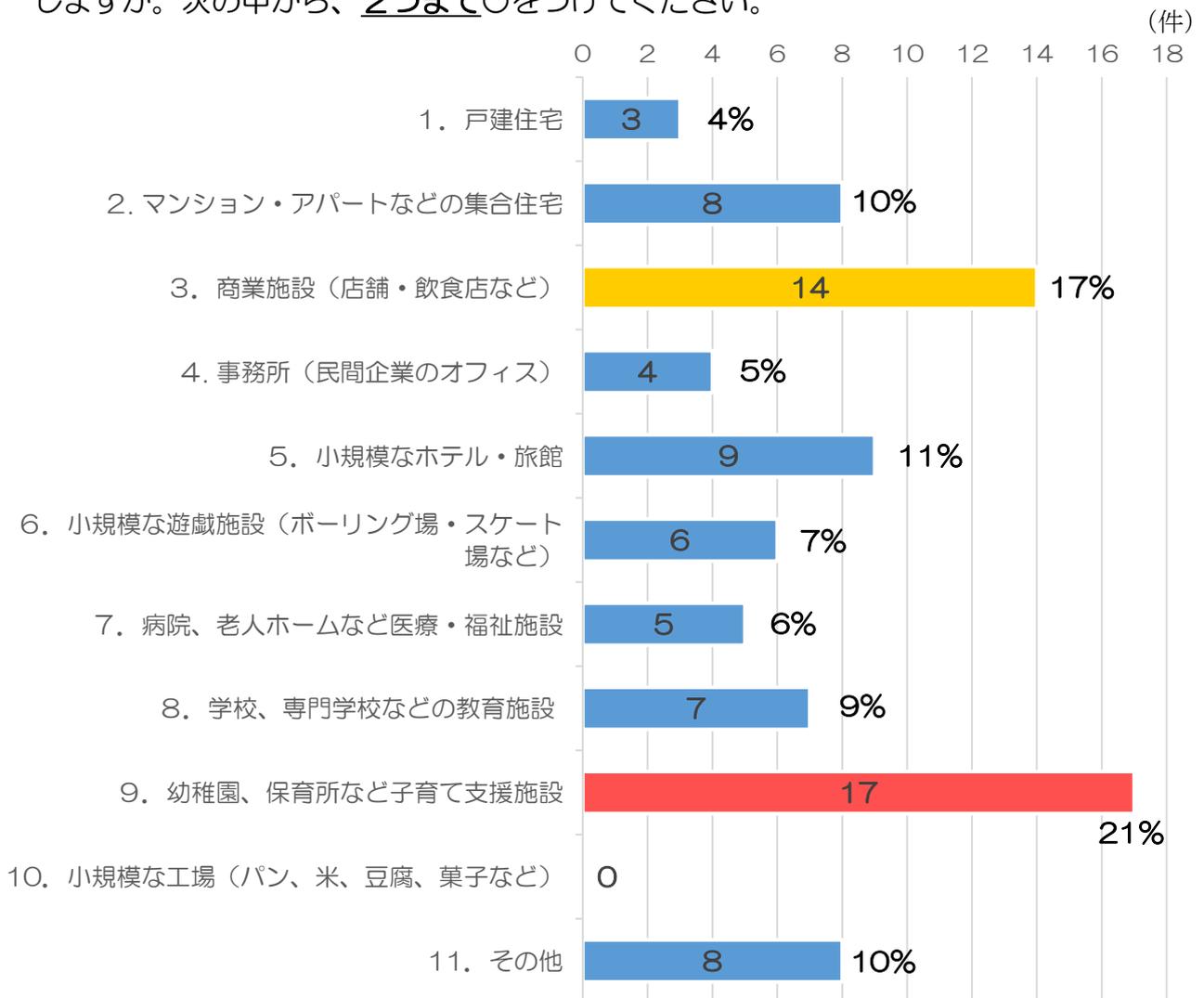
○ 「てっぽく・ひろば」を含む周辺地域について、今後どのような場所になるのが望ましいとお考えですか。次の中から2つまで○をつけてください。



意見提出者数：49 団体 回答数：91 件

「てっぽく・ひろば」の跡地活用については、「人々が憩い、交流できるような場所」と回答した団体が34%と全体の3割以上を占め、非常に多くなっており、ついで、「多くの人を訪れ、にぎわいを生み出すような場所」（18%）の順となっています。

○ 「てっぽく・ひろば」の跡地活用として、具体的にはどのような施設や用途を期待しますか。次の中から、2つまで○をつけてください。



意見提出者数：49 団体 回答数：81 件

「11.その他」内容

- ・ 文化的施設
- ・ 公園
- ・ 防災も手稲の歴史も学び体験できる総合施設
- ・ イベントホールなど
- ・ 地域住民向けの運動施設（テニス、卓球、その他室内スポーツ）
- ・ 図書館、子どもが遊べる室内遊戯施設
- ・ どのような施設が良いのかわかりません

跡地活用の具体的な施設、用途としては「幼稚園、保育所など子育て支援施設」と回答した団体が21%と最も多くなっており、ついで「商業施設（店舗・飲食店など）」（17%）の順となっています。

- その他、自由意見としては下記のような意見がありました。
いただいたご意見については、一部要約して掲載しています。

○通路の確保（9件）
当該地を通り抜けできる自転車道（歩道）の確保。（同様の意見ほか8件）
○公園・広場（9件）
<ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントが出来る広場（同様の意見ほか3件） ・人々が交流できるような広場を擁する公園（同様の意見ほか3件） ・緑地の敷地面積を広く確保
○集会施設（会議室・宴会場）（6件）
<ul style="list-style-type: none"> ・数百人以上が集まり会合できる場所（同様の意見ほか3件） ・懇親会のような大人数で会食ができる場（同様の意見ほか1件）
○教育・文化施設（7件）
<ul style="list-style-type: none"> ・学び、教養が高められ、子どもたちに夢と希望があふれるような施設（博物館・歴史記念館・科学館など）（同様の意見ほか4件） ・大学サテライト（同様の意見ほか1件）
○多目的施設（5件）
<ul style="list-style-type: none"> ・行政、民間、医療福祉サービスが提供される多目的テナントビルのような施設（同様の意見ほか2件） ・高齢者、子育て世代、小学生等が交流できるスペース（同様の意見ほか1件）
○宿泊施設（4件）
宴会ができるような大きなホテル（同様の意見ほか3件）
○遊戯施設（2件）
小規模な遊戯施設（スケート場兼プール）（同様の意見ほか1件）
○その他（21件）
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄北小学校の安全等の確保（同様の意見ほか2件） ・次期、区役所移転用地（同様の意見ほか1件） ・手稲区民の利益につながる活用方法（同様の意見ほか1件） ・防災施設を兼ねた建築物（その他意見10件）

意見提出者数：52団体

<ul style="list-style-type: none"> ・ その他自由記載の中には、地域の方の利便性や隣接小学校の通学路としての配慮から「連絡通路」の整備について望む声が複数ありました。 ・ 「広場や公園」「集会施設」など、今後とも地域の方々が「てっぽく・ひろば」を何らかの形で活用したい、活用できると良いといった意見も多くありました。また、それらとともに、オフィスや店舗などの要素も取り入れた多目的施設によって、効率的に土地の利活用を望む声もありました。 ・ また、隣接地に小学校があることから、教育・文化関係施設を望む声も複数ありました。さらに、小学校との関係で、児童の安全確保に配慮して欲しいといった意見もありました。 ・ 全体的には、意見は多岐にわたるものの、「てっぽく・ひろば」がこれまで長年にわたり区民に親しまれてきた経緯から、今後も「区民のための場所」であり続けてほしいといった声が多くあったように思います。
--

2 アンケート結果を受けて

アンケートでは、てっぼく・ひろばの今後のイメージとしては、多くの団体が「人々が憩い、交流できるような場所」を選び、次いで、「多くの人々が訪れ、にぎわいを生み出すような場所」となっています。

また、その具体的な施設、用途としては「幼稚園、保育所など子育て支援施設」が最も多く、次いで「商業施設（店舗・飲食店など）」の回答が多く寄せられました。

その結果から、「てっぼく・ひろば」の跡地は、多くの方々から憩い、交流でき、かつにぎわいのあるような場所となること、特に次代のまちづくりを担う子どもたちを育みつつ、地域に活力をもたらすような要素が望まれているように思います。

また、その他自由意見では、地域の方々の利便性の観点から「通路」としての機能の確保を望む声や、広場や公園など、今後も同地を地域で活用できるようにしてほしいといった声、子どもたちをはじめ多くの区民の財産となるような、教育文化機能を備えてほしいといった声が多くあったように思います。

一方、意見として多数ではありませんが、小学校の隣地という状況から安全面などについてもご意見があり、このことについては、十分に配慮されるべき事項と考えます。

そして、希望する内容は個々に異なるものの、全体的には、「てっぼく・ひろば」が区民にとって長年にわたり親しまれ活用されてきた経緯を踏まえ、今後も、同地が何らかの形で地域の発展に貢献してほしいといった思いが込められた意見が寄せられたと考えております。

区連協ではこれらの意見を踏まえ、本年末をめぐりに、「てっぼく・ひろば」跡地について、区民にとってより良い方向性を検討し、札幌市への要望書をまとめ、提出いたします。